

最上川200キロを歩く

山形新聞・山形放送8大事業の一つ

「最上川200キロを歩く小学校探検リレー2018」が7月7日(土)に鳥越出張所管内で行われました。

今年、沼田小学校の4年生19人が参加し、大蔵村大蔵橋から戸沢村古口地区まで、時折小雨がぱらつく中、元気に歩いて山形県の母なる川「最上川」について学びました。

〈歩いたルート〉



出発式



堤防の役割や種類の説明



最上川は昔から人や物などを運んで人々に利用されていました。



排水樋管の操作を体験中



透視度計とパックテストを使い水質について学習



すごい迫力!!
すごい水圧!!



排水ポンプ車の実演